

副本

平成16年(行ウ)第43号 公金支出差止等請求住民訴訟事件

原告 秋山博 外18名

被告 群馬県知事 外1名

証拠説明書 (17)

平成20年12月3日

前橋地方裁判所民事第2部合議係 御中

被告兩名訴訟代理人弁護士

伴 義聖



被告群馬県知事指定代理人

戸神 博樹



同

村上 行正



同

本木 秀典



同

奥野 幸二



同

萩原 美紀



同

宮田 嗣美



同

中山 勝



同

浅田 正人



同

若田部 純一



同

後藤 剛



同

桐生 利一



同

田部井 宏明



被告群馬県企業管理者指定代理人

小倉 豊人



同

葉葺 孝



同

内田 徹



同

内山 倫秀



号 証	標 目	作成年月	作成者	立証趣旨
乙258	意見書	原本	H20.12.3 群馬県企画部土地・水対策室長 中野三智男 群馬県健康福祉部衛生食品課長 信澤敏夫 群馬県県土整備部河川課長 湯浅一光 群馬県企業局水道課長 須田 稔	八ッ場ダムが群馬県企業局の水道用水及び工業用水の水源として必要である事実等嶋津暉之氏の意見書（甲第11号証）及び同氏の証言に対する群馬県及び群馬県企業局の担当課長等の意見
乙259	意見書	原本	H20.12.3 群馬県企画部土地・水対策室長 中野三智男 群馬県健康福祉部衛生食品課長 信澤敏夫 群馬県県土整備部河川課長 湯浅一光 群馬県県土整備部特定ダム対策課長 坂尾博秋 群馬県企業局水道課長 須田 稔	伊藤祐司氏の陳述書（甲第10号証）及び同氏の証言に対する群馬県及び群馬県企業局の担当課長等の意見
乙260	八ッ場ダムの建設に関する基本計画に係る証拠整理表	原本	H20.12.3 群馬県土地・水対策室	八ッ場ダムの建設に関する基本計画を証拠として提出している事実
乙261	水問題原論 増補版（抄）	写し	H11.10.12 嶋津暉之	嶋津氏が節水を信条としている事実等

号 証	標 目		作成年月	作成者	立証趣旨
乙262	利根川のダムは年間200日補給(関東地方整備局HPより)	原本	H20.12印刷	国土交通省関東地方整備局	利根川上流ダム群では冬期も含めて年間200日以上、下流に補給しており、河川の自流に余裕はない事実
乙263	平成6年利水基準地点栗橋の流量図(利根川ダム統管理事務所パンフレットより)	原本	H16.12	国土交通省関東地方整備局利根川ダム統管理事務所	渇水時に限らず通年でダムからの補給によって、栗橋利水基準点の流量を改善している事実
乙264	利根川水系河川整備基本方針(抄)	写し	H18.2	国土交通省河川局	栗橋地点の正常流量を定めている事実
乙265	平成17年度利根川水運用検討業務報告書概要版(正常流量検討)(抄)	写し	H18.3	財団法人河川環境管理財団	栗橋地点の正常流量を算定した根拠
乙266	利根川に関する補足説明資料	写し	H17.12	国土交通省河川局	栗橋地点等における流況
乙267	利根川の広域低水管理(関東地方整備局HPより)	写し	H20.12印刷	国土交通省関東地方整備局	利根川では上流、中流、下流の水資源開発施設を、効果的かつ効率的に運用する広域低水管理を行っている事実
乙268-1	平成17・18年度上流7ダム補給量と渡良瀬貯水池補給量	写し	H19.10	国土交通省関東地方整備局	渡良瀬貯水池の干し上げのための放流により、他のダムからの補給量が少なくなる事実
乙268-2	渡良瀬貯水池貯水容量図	写し	H19.10	国土交通省関東地方整備局	渡良瀬貯水池は干し上げ期間以外で補給している事実

号 証	標 目		作成年月	作成者	立証趣旨
乙269	平成18年度全国の地盤沈下地域の概況（環境省HPより）	写し	H20.12 印刷	環境省水・大気環境局	環境省が地盤沈下（20mm未満を含む。）を問題視している事実
乙270	トリハロメタン測定結果（平成18年度水道統計水質編（抄））	写し	H20.12 印刷	厚生労働省健康局水道課（群馬県衛生食品課にて加筆）	県内の地下水のトリハロメタン濃度測定結果
乙271	平成20年版環境白書（抄）	写し	H20.9	群馬県	県内の地下水から硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が環境基準を超えて検出された事実
乙272	降水量の経年変化（年平均と5年移動平均）	原本	H20.12.3	群馬県土地・水対策室	降水量が減少傾向にある事実
乙273の1	新聞記事	写し	H20.11.26	上毛新聞	群馬県が積極的に工業団地を造成している事実
乙273の2	新聞記事	写し	H20.11.27	日本経済新聞	